



## 「幸せに働くために「自分軸」で考える力を」

コミュニケーションデザイナー 黒木 麻莉恵

はじめまして。この度、ご縁があり「よのなか先生」に登録させていただくことになりました黒木麻莉恵と申します。私は日向市出身で、年齢を重ねるごとに、何らかの形で地元に関わることができたらと考えていたので、このような機会をいただけてとても光栄です。

私は今、宮崎市に移住したい方々のサポートをし、その方の理想とする暮らし方について一緒に考えています。その中で感じるのは、自分が「どんな人生を送りたいのか」を改めて考え直す人が増えているということ。それは、新型コロナウイルス感染症によりリモートワークが普及したことも理由の1つに考えられますが、それ以上に、お金やモノなど形あるものではなく、「目に見えないもの」が重視される時代に突入したからだと言えます。

そんな時代を生き抜くために、子どもたちには豊かな想像力を持ち、変化を楽しむしなやかさと自分軸で考える芯の強さを身につけて欲しい。そして、結果的に郷土愛が育まれていくといいなと思っています。

私の拙い経験が、何か少しでも子どもたちの将来のヒントになるのであれば嬉しく思います。みなさまにお会いできること心から楽しみにしております。



## 「スポーツと町おこし」

宮崎大学地域資源創成学部2年 河口 暁

大学では、町おこしなど行政、経済をはじめマーケティングや異文化理解など幅広い分野を学んでいます。町おこしやマーケティングなどは面白くて良いのですが、興味のない分野も学ばなければならないのが勉強です。ですが、興味のあるものこそ突き詰めるべきだと思います。私は、今回のインターンシップでプロ野球キャンプの誘致活動をしています。スポーツと町おこしは興味がある分野なので楽しいです。

スポーツは人の心を突き動かすエンターテインメントだと思います。宮崎県のプロ野球キャンプの経済効果は少なくとも100億円はあり、とても大きな影響力を持っています。コロナのせいで業績悪化や倒産に追い込まれる企業も多い中、キャンプを誘致し経済を盛り上げる、地域の良さを発信する必要があります。それだけでなく、子供たちがプロ選手を目指すきっかけ作り、町の盛り上がりにも繋がります。日向市には楽天の2軍がキャンプに来ていますが、1軍も誘致できるような提案をできるように頑張りたいです。



## 「地方で色のあるまちづくり」

宮崎大学地域資源創成学部2年 中川 大夢

今回、日向商工会議所でインターンシップという形でプロ野球キャンプ誘致プロジェクトに携わった。地方分権という言葉がある中で、地方の自治体が力を持たなくてはいけない時代になってきた。だが、地域ならではの伝統文化は後継者問題などでなくなっていき、地域の色がどんどんなくなっていると感じる。

そこで、地方が色を出すためにはスポーツキャンプは一つの手がかりになるのではないかと考えている。スポーツキャンプをその地域で行うことで、多くの人々が訪れ、まちの宣伝効果にもつながり、経済効果も生まれる。私自身宮崎出身でスポーツキャンプに何度か行ったのだが、宮崎でもこんなにも人が集まり、賑わっていることに感動を覚えた。そのため、スポーツキャンプには地域振興の可能性が十分にあると思うので、今回のような経験はとても新鮮で勉強になった。



## 宮崎大学インターンシップ生「プロ野球等キャンプ誘致研究会」で提言

日向商工会議所で取り組んでいるプロ野球等キャンプ誘致研究会が、研究会の委員、日向市軟式野球連盟の役員等の参加の元、3月15日に開催されました。その中で宮崎大学からインターンシップでこのプロジェクトのために参加された2名の学生より「日向市にプロ野球キャンプを!」と題して、その経済効果から誘致を進める上での今後の課題などが発表され、日向市の街づくりの基軸にと提案されました。

そのあと商工会議所清水専務より「プロ野球等のキャンプを取り巻く環境・キャンプを巡る現状を知る」との提言書(案)が示され内容等の説明が行われました。



【三輪会頭あいさつ】



【インターンシップ生の発表】



【清水専務の提言書(案)説明】



## 財光寺南小学校「よのなか教室」開催

財光寺南小学校の4年生71名を対象に、  
①地域で夢を持って仕事に取り組んでいる方の話を聞くことで「働くとは」「仕事の喜びと苦労」「夢や目標」等を感じ取ることができるようにする。  
②何のために勉強するのかを理解し、学習に対する意欲を高めるとともに、望ましい勤労観や職業観を身に付ける。という目的から、1月29日(金)にお二人の「よのなか先生」にご協力いただき開催されました。

### 【よのなか先生のご紹介】

- 青木雅矢せんせい (認定こども園 伊勢ヶ浜保育園園長 保育士)
- 緒方康彦せんせい (Sweets Café カフェ&ケーキ屋 社長)



青木せんせい



緒方せんせい

## 日知屋小学校4年生の「職業講和」

日知屋小学校4年生の希望で選ばれた4職種の「よのなか先生」による職業講和が、去る11月2日・11月9日・11月10日・11月30日に開かれました。子供たちから要望のあった職種は保育士、海外での仕事経験のある方、消防士、IT関係(希望はYouTuber)でしたが、さすがにYouTuberはコーディネートできませんでした。

それぞれ自分たちで選んだ職種の方々のお話とあり、みんなが目を輝かせてお話に聞き入っていたようです。

### 【よのなか先生のご紹介】

- 後藤真子せんせい (長江保育園 保育士)
- 藤江顕せんせい (子供英会話サンシャインアカデミー代表社員(海外経験者))
- 夏井隆光せんせい (日向市消防本部 消防士)
- 河野巨せんせい ((有)ヤッシュ代表 (IT関係会社))



後藤せんせい



藤江せんせい



夏井せんせい



河野せんせい

## 日向高校フロンティア科 10期生課題型学習中間発表会

日向市キャリア教育支援センター  
福島 重義

日向高校フロンティア科10期生課題型学習校内中間発表会とリモート交流会が去る3月11日に日向高校にて開催されました。フロンティア科1年生の課題型学習は、令和2年9月度よりメンターの指導を受けて開始され、コロナ禍にて当初の計画に大幅な修正を加えながら、中間発表会を開催するまでに至りました。

中間発表会は、視聴覚室と図書室に分かれて8班が活動成果を発表し、1年生、3年生有志、メンター、日向市役所関係者、支援企業の皆様方からの質疑に应答しながら元気よく開催されました。

リモート交流会は、8か所の教室に分かれ、ZOOMバージョンで延岡星雲高校、都城西高校の生徒にテーマ発表と質疑应答を行いました。活気にあふれた交流会でした。



## 令和2年度日向高校フロンティア科 課題型学習最終発表会

日向市キャリア教育支援センター  
福島 重義

令和2年度日向高校フロンティア科課題型学習最終発表会が去る3月18日に日向市中央公民館大ホールにて開催されました。日向高校は日向市と包括連携協定を結び、「日向市の魅力を向上させるためには」というテーマのもと、1年次よりフロンティア科2年生が課題型学習に取り組んで参りました。学習も最終段階を迎え、今回、最終発表会を開催いたしました。

発表会は、「日向市長への提言」という形で2年間にわたる探究活動の成果を日向市に報告しました。来賓として、十屋日向市長、富井日向市議、菅高鍋高校教諭が出席され、審査と講評を賜りました。ホール席は、フロンティア科1年生、2年生、日向市役所関係者、中学生、保護者などで埋め尽くされました。

